

新しい県立高等学校入学者選抜制度について

1 第一次募集について

(1) 出願及び学力検査について

イ 出願

(イ) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は卒業見込みの者は、希望する高校に出願することができる。

(ロ) 出願できる高等学校は、一人1校とし、課程及び学科・コースについては一つに限る。ただし、複数の学科・コースを併置する高等学校にあつては、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができることとし、第2志望を認める学科・コースについては、別に公表する。

(ハ) 出願は2月中旬とし、出願に当たっては、入学願書及び写真票、調査書等を提出する。ただし、志願理由書の提出は求めない。

ロ 学力検査の実施

(イ) 学力検査は3月上旬に実施する。

(ロ) 受験者全員に対して、5教科の学力検査を実施する。

(ハ) 実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。

(ニ) 実施時間は、各教科50分とする。

ハ 面接・実技・作文の実施

各高等学校は必要に応じて、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文の中から、各高等学校の特色に応じて、一つ又は複数の検査を実施することができる。

(2) 選抜方法について

受験生全員を共通選抜及び特色選抜の対象とし、2つの選抜の選抜順序、募集割合、選抜資料の配点等については、各高等学校が定め、あらかじめ公表する。

イ 共通選抜

(イ) 共通選抜は、学力検査の結果及び調査書に基づいて選抜する。

(ロ) 国語，社会，数学，理科及び英語の5教科の学力検査（500点満点）の結果及び調査書（195点満点）を選抜資料の基本とする。

(ハ) 体育及び美術に関する学科にあつては、実技の評価を選抜資料に加えることができる。

(ニ) 各高等学校は、学力検査点と調査書点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、あらかじめ届け出た、学力検査点と調査書点の比重に基づき、その両方の満点により近い者を上位とし、上位の者から審査し、選抜する。

ロ 特色選抜

(イ) 特色選抜は、受験生のもつ多様な資質・能力，適性，意欲等，中学校における取組を適切に評価するため，各高等学校及び学科等の特色に応じて選抜資料の配点等を共通選抜と別に定めるなどして，各高等学校及び学科等の求める生徒像に照らして総合的に審査し，選抜する。

(ロ) 各高等学校は必要に応じて面接，実技，作文の評価を選抜資料に加えることができる。

(ハ) 学力検査点（500点満点）は，各教科の学力検査の得点を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた点数を合計したものとする。

(ニ) 調査書点（195点満点）は，各教科・学年の評定を換算率0.25～2.0倍により算出して得られた値を合計したものとする。ただし，不登校生徒等を積極的に受け入れる学校においては，0.25未満の換算率とすることができ
る。

(ホ) 学力検査点及び調査書点の換算率については，0.25刻みの8段階のうちから，学校・学科ごとに設定する。

(へ) 審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文の得点の合計点上位の者から、特色選抜募集人数の120～200%の範囲に含まれる者とする。

(ト) 選抜は学力検査点、調査書点及び面接・実技・作文の得点を合計した点数を
基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて総合的な審査により行う。

(3) 共通選抜と特色選抜の募集割合について

特色選抜の募集割合は、募集定員の10～50%の範囲内で、各高等学校・学科の特色に応じて設定する。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程にあっては募集定員の10～90%の範囲内で設定する。

(4) 合格者の発表について

共通選抜と特色選抜の区別なく、合格者を発表する。

2 連携型中高一貫教育に関する選抜について

連携型高等学校は、連携型中学校からの志願者を対象とした連携型選抜を実施する。
学力検査、調査書及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

3 社会人特別選抜について

定時制課程の学科においては、社会人を対象とした選抜を行うことができる。学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

4 通信制課程に関する選抜について

上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

5 追試験について

- (1) 第一次募集検査日当日，病気，交通事故，その他のやむを得ない事由によって受験できなくなった者で，所定の手続きを経た者は追試験を受験することができる。
- (2) 追試験は第一次募集の学力検査実施から合格発表までの期間に第一次募集と同じ方法で実施し，合格者の発表については，第一次募集の合格発表と同時に行う。

6 第二次募集について

- (1) 第一次募集の合格発表の時点で募集定員が満たされていない高等学校の課程，学科・コースについては，第二次募集を行うものとする。
- (2) 選抜は，調査書のみの審査，あるいは調査書に，第二次募集の学力検査，面接，実技（体育及び美術に関する学科の場合），作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた総合的な審査により行う。
- (3) 選抜資料の配点等については，各高等学校が定め，あらかじめ公表する。

7 調査書について

様式については別紙のとおりとする。

8 出願希望調査について

(1) 調査の実施について

県内公立高等学校を志願する者について，希望する高等学校ごとに第1希望生徒数を調査する。出願希望できる高等学校は，一人1校とし，課程及び学科・コースについては一つに限る。

(2) 結果の公表について

調査は1月中旬に実施し，県内公立高等学校ごとの出願希望者数を公表する。

9 導入時期

平成32年度入学者選抜から実施する。

(様式例:平成32年度入学者選抜用)

調査書

調査書等作成委員会	
記載責任者印	

受験番号	※No.
------	------



ふりがな		性別		
氏名				
生年月日	平成	年	月	日生
卒業年月	平成	年	月	

記載内容に誤りがないことを証明します。

平成 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印

1 各教科の学習の記録					
教科	学年	1	2	3	※
	国語				
社会					
数学					
理科					
外国語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭					

4 特別活動等の記録
① 学級活動 ② 生徒会活動 ③ 学校行事 ④ その他

2 総合的な学習の時間の記録

5 スポーツ活動, 文化活動, 社会活動, ボランティア活動等の記録

3 行動の記録			
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤労・奉仕	
責任感		公正・公平	
創意工夫		公共心・公德心	

6 欠席の状況			
学年	事項	欠席日数	事由
1			
2			
3			

7 特記事項(校外での活動を含む)

※No.

参考1 新しい県立高等学校入学者選抜制度と現行制度との比較

現行の入試制度

前期選抜 2月上旬	後期選抜 3月上旬
<p>■出願 願する高等学校が事前に公表する「出願希望調査」を満たす生徒が出願できます。</p> <p>■検査内容 通科コース制、専門学科、総合学科、体育及び美術に関する学科</p> <p>■検査内容 学力検査、面接、実技</p> <p>■選抜方法</p> <p>A 学力検査点 (75~300点)</p> <p>B 調査書点 (225点満点)</p> <p>C 学校独自検査 (75~300点)</p> <p>※BやCの配点やCの検査内容は、学校によって異なります。</p> <p>■第1段階 A+B+Cの合計点上位の者について調査書の記載事項も用いて選抜します。</p> <p>■第2段階 A+B+Cの合計点と調査書の記載事項を用いて、総合的に選抜します。</p>	<p>■出願 前期選抜を受験していない生徒及び後期選抜に合格していない生徒が出願できます。</p> <p>■検査内容 面接、実技、作文、学力検査のいずれか1つ又は複数を実施する場合があります。</p> <p>■選抜方法 調査書のみ又は調査書に上記の検査を加えて総合的に選抜します。</p>

第二次募集 3月下旬

■出願 前期選抜及び後期選抜のいずれにも合格していない生徒が出願できます。

■検査内容 面接、実技、作文、学力検査のいずれか1つ又は複数を実施する場合があります。

■選抜方法 調査書のみ又は調査書に上記の検査を加えて総合的に選抜します。

※募集定員に合格者が満たない場合に実施します。

平成32年度からの入試制度

第一次募集	
出願希望調査：1月中旬	
出願：2月中旬	
検査内容	<p>■検査日 3月上旬（1日又は2日で実施）</p> <p>■学力検査 全員共通（国語、社会、数学、理科、英語）</p> <p>■面接、実技、作文</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接、作文（各高校・学科等の必要に応じて実施） 実技（体育及び美術に関する学科において、必要に応じて実施）
募集割合	<p>特色選抜 10~50%</p> <p>ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程は10~90%</p>
選抜方法	<p>共通選抜 50~90%</p> <p>ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程は10~90%</p>
	<p>A 学力検査点（5教科）</p> <p>※各教科の学力検査の得点を換算率【0.25~2.0倍】により算出して得られた点数を合計します。</p> <p>B 調査書点</p> <p>※各教科・学年の評定を換算率【0.25~2.0倍】により算出して得られた値を合計します。ただし、不登校生徒等を積極的に受け入れる学校においては、0.25未満の換算率とすることができません。</p> <p>C 面接、実技、作文の得点</p> <p>■A+B+Cの合計点上位の者から特色選抜募集人数の120~200%の範囲に含まれる者を審査対象とします。</p> <p>■A+B+Cを合計した点数を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜します。</p>
追試験	<p>■対象 学力検査当日やむを得ない事由によって受験できなくなった者で、所定の手続きを経た者。</p> <p>■選抜方法 上記選抜方法と同じ。</p>
合格	合格発表 共通選抜と特色選抜の区別なく発表します。

第二次募集

■出願 第一次募集で合格していない生徒が出願できます。

■検査内容

- 検査日 3月下旬
- 面接、実技、作文、学力検査のいずれか1つ又は複数を実施する場合があります。
- 学力検査を実施する場合は、国語、数学、英語から1教科以上実施します。

■選抜方法

- 検査日 3月下旬
- 調査書のみ又は調査書に上記の検査を加えて総合的に選抜します。

※第一次募集の合格発表の時点で募集定員に合格者が満たない場合に実施します。

年	月	内 容
29	12	新入試制度決定・公表
30	秋	求める生徒像，選抜方法等公表
31	7	募集定員公表
	8	オープンキャンパス
	10	選抜要項発表
32	1	出願希望調査
	2	第一次募集出願
	3	第一次募集検査
		追試験
	第一次募集合格発表	
	第二次募集出願	
	第二次募集検査	
	第二次募集合格発表	

参考3 求める生徒像(例:普通科と商業科を併置する高校)

学校名	けやき高等学校	課程	全日制	学科	普通科	募集定員	200人												
求める生徒像																			
<p>本校は、多様な進路希望を持った生徒の自己実現を可能にする学校です。基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させて学力の伸長を図るとともに、特別活動等への積極的な参加を促すことによりバランスのとれた生徒の育成に努めています。</p> <p>また、保護者、地域社会から支持され信頼される開かれた学校です。</p> <p>豊かな人間性とたくましさを持ち、自主的・自律的・意欲的に生き生きと活動する、次の1～5に当てはまる生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校で学ぼうとする理由が明確で、自主・自律の精神で、学校生活に意欲的に臨む生徒 2 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒 3 進路実現に向かって継続的に努力し、積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒 4 何事にも真剣に取り組む、日々の授業を大事にする生徒 5 部活動、校外でのスポーツ活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒 <p>特に、特色選抜においては、上記4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。</p>																			
第一次募集（選抜方法等）																			
選抜順序	共通選抜			特色選抜		面接・実技・作文													
共通選抜（募集定員の70% 140人）																			
学力検査:調査書	5:5	第2志望とすることが できる学科		商業科															
<p>国語、社会、数学、理科、英語の5教科の学力検査(500点満点)の結果及び調査書(195点満点)を選抜資料の基本とする。</p> <p>学力検査点と調査書点の満点を原点とした相関図表を用いて選抜する。このとき、学力検査点と調査書点の比重を5対5とし、その両方の満点により近い者を上位とする。</p> <p>上位の者から審査し、選抜する。</p>																			
特色選抜（募集定員の30% 60人）																			
<p>I 配点</p> <table border="0"> <tr> <td>1 調査書(教科の評定)</td> <td>390点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3年間の各教科の評定を各2.0倍とする。</td> </tr> <tr> <td>2 学力検査</td> <td>375点</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5教科の得点を各0.75倍とする。</td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計965点</td> </tr> </table> <p>II 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査対象は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜の募集人数の120%の範囲に含まれる者とする。 選抜は、学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 						1 調査書(教科の評定)	390点	3年間の各教科の評定を各2.0倍とする。		2 学力検査	375点	5教科の得点を各0.75倍とする。		3 面接	200点	合計965点		<p>I 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路志望 (4) その他 4 観点 (1) 態度 (2) 表現力等 <p>※面接については、2日目に実施する。</p>	
1 調査書(教科の評定)	390点																		
3年間の各教科の評定を各2.0倍とする。																			
2 学力検査	375点																		
5教科の得点を各0.75倍とする。																			
3 面接	200点																		
合計965点																			
第二次募集（選抜方法等）																			
<p>I 配点</p> <table border="0"> <tr> <td>1 調査書(教科の評定)</td> <td>225点</td> </tr> <tr> <td>2 学力検査</td> <td>300点</td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計725点</td> </tr> </table> <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iの資料を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、本校の求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。</p>						1 調査書(教科の評定)	225点	2 学力検査	300点	3 面接	200点	合計725点		<p>面接・実技・作文</p> <p>I 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 形態 個人面接 2 時間 1人10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ 					
1 調査書(教科の評定)	225点																		
2 学力検査	300点																		
3 面接	200点																		
合計725点																			